

提出日：令和 3 年 2 月 24 日

所 属：麻布大学附属動物病院

氏 名： 斑目広郎 職位：教授

I ティーチング・ポートフォリオ

1. 教育の責任（教育活動の範囲）

現在は専門分野である獣医病理学の中の各論の一部と応用分野に責任を負っています。応用分野としては外科病理学分野（病理診断学）の教育を中心に行っています。卒業論文については来年で定年のため過去 2 年は新規学生を募集しておりません。

| 科目名 | 学科・専攻 | 必, 選, 自 | 配当年次 | 受講者数 |
|---------------|--------|---------|------|------|
| 獣医病理学各論 I | 獣医学科 | 必 | 3 | |
| 獣医病理学各論 II | 獣医学科 | 必 | 4 | |
| 獣医学特論 I | 獣医学科 | 必 | 5 | |
| 獣医学特論 II | 獣医学科 | 必 | 6 | |
| 先端獣医療 | 獣医学科 | 選 | 6 | |
| 卒業論文 | 獣医学科 | 必 | 6 | |
| 小動物病院実習 | 獣医学科 | 選 | 6 | |
| 獣医病理学特論 | 獣医学研究科 | 1 | | |
| 獣医病理学特別演習 I | 獣医学研究科 | 1 | | |
| 獣医病理学特別演習 II | 獣医学研究科 | 2 | | |
| 獣医病理学特別演習 I | 獣医学研究科 | 1 | | |
| 獣医病理学特別演習 II | 獣医学研究科 | 2 | | |
| 獣医病理学特別演習 III | 獣医学研究科 | 3 | | |
| 獣医病理学特別演習 III | 獣医学研究科 | 3 | | |
| 獣医病理学特別演習 IV | 獣医学研究科 | 4 | | |

2. 教育の理念（育てたい学生像, あり方, 信念）

教育理念としては各個人の個性を尊重しつつ、自分で考えられる獣医師を育成することを目指しています。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方，方法）

教育の目的と目標（これまでの教育経験においていつも行っていること。重要視していること。自分の教育を特徴づける方法）

学生の望む教育を第一に考えています。私立大学の獣医学科においては国家試験合格が、多くの学生と学費負担者の最大の目標となっていますので、研究室活動が国家試験の勉強の負担とならないように注意を払っています。

アクティブラーニングについての取組

検討中

ICTの教育への活用

検討中

4. 教育方法の改善の取組（授業改善の活動）

- ① 教育（授業，実習）の創意工夫（B）
- ② 学生の理解度の把握（B）
- ③ 学生の自学自習を促すための工夫（B）
- ④ 学生とのコミュニケーション（質問への対応等）（B）
- ⑤ 双方向授業への工夫（B）

※A（十分実施している） B（実施しているが十分でない） C（うまく取り組めていない）

上記を鑑みて現在の授業実践・教授手法をどのように改善していますか。

すべての面について十分とは言えないため、特に遠隔方式の授業について工夫を加えたい。

⑥ 国家試験対策としてどのような取組をしましたか。

国家試験対策に関しては特別な取り組みをしておりません。

5. 学生授業評価

① 授業評価の結果をどのように授業に反映させましたか。

授業評価に記載されて内容については極力改善を試みています。

② ①の結果はどうでしたか。

同一の学生が授業を受けているわけではありませんので、結果については不明です。

③ ②を踏まえて次年度はどのように取組みますか。

6. 学生の学修成果

① 学生の成績向上に資する取組を何か考えていますか。

国家試験レベルの問題を意識して教育しております。

| |
|--|
| <p>② 教育活動によって得られた学生の成果及び学生・第三者からの評価 不明。</p> |
| <p>7. 指導力向上のための取組（FD 研究会参加状況） 大学主催の研修会には時間の許す限り参加しています。</p> |
| <p>8. 今後の目標（理念の実現に向かう今後のマイルストーン） 教育活動に関する今後の目標を記載してください。短期的な目標と長期的な目標を分けて記載してもかまいません。 来年度が最後の教育活動となります。担当科目の中の獣医病理学各論については教科書が改訂される予定ですので、改訂された教科書に準拠した内容に変更します。</p> |
| <p>9. 添付資料（根拠資料）（※）資料名のみ</p> |